

東京聖栄大学健康栄養学部管理栄養学科【栄養教諭一種免許状】

○各段階における到達目標【平成26年度以降入学者】

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	日本国憲法の基本原則を説明できる「日本国憲法」。現代人の生活と健康問題の関係を知り、より良い健康を獲得する手立てを身につける「保健体育(体育理論を含む)」。自分の体力レベルを把握し、その向上のために日常生活にスポーツを取り入れることができる「体育実技」。基礎的な英語の理解と定着を図る「英語Ⅰ」。
	後期	教職の意義、教員の役割や職務内容を把握し、自分なりに目指すべき教員像を作り上げる「教職概論」。教育の意義や目標、思想を理論的に理解し、教育者を志す者としての資質能力を養う「教育原論」。英語基礎力の養成ができる「英語Ⅱ」。Windows、Office、パソコン周辺機器の基本的操作とWord、Excelを用いたレポート作成ができる「情報処理演習Ⅰ」。
2年次	前期	子どもの学習・動機付け・評価・人間関係・発達・発達障害などの教育心理学の基本的な考え方を理解できる「教育心理学」。教職に必要な日本の教育制度の歴史と現状を的確に把握し、現在進められようとしている教育制度改革の動向を理解できている「教育制度論」。学校教育に役立つ教育の方法を最も効果的な仕方を使い分けたり、組み合わせたり、開発したりできる知識と技術を習得できる「教育方法論」。日本語発音の英語から脱却し、英語らしい発音ができるようになる「英会話Ⅰ」。
	後期	学習指導要領に示されている道德教育の内容、道德教育の変遷、道德教育の本質を理解し、道德教育実践に必要な情報やアイデアを使い、いじめ・暴力・非行に有効な道德教育を実践できる「道德の指導法」。特別活動の意義や目標を理解し、実践事例の分析と考察、学習指導案の作成ができる「特別活動の指導」。生徒指導の理論と方法について具体的問題を通して考察を深めることができる「生徒指導の理論と方法」。聞き取った英語の単語や文法を理解できる「英会話Ⅱ」。
3年次	前期	学校教育相談の理論・方法・技法を知り、心理的援助の実際を説明できる「教育相談の理論と方法」。
	後期	教育課程の捉え方と指導方法を知り、学校での実践的な指導力を身につける「教育課程論」。栄養教諭の役割と職務内容、学校給食の役割、食生活の歴史的・文化的事項を理解し、児童・生徒が食行動で正しい選択ができるための知識と方法を説明できる「学校栄養教育法」。食に関する指導の基礎理論を理解し、学習指導案の作成・模擬授業・相互評価を通し、指導法の向上を目指す「食育指導法」。
4年次	前期	栄養教育の内容の理解及び授業実践力の向上を目指す「栄養教育実習事前事後指導」。これまでに学んできた一般教育科目、教職に関する科目、専門に関する科目を学校現場での実習を通して総合的に実践し、教師としての資質を養う「栄養教育実習」。
	後期	栄養教育上の実際的な諸課題について必要な対処ができるようになる「教職実践演習」。